【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2001-90773(P2001-90773A)
【公開日】平成13年4月3日(2001.4.3)
【出願番号】特願平11-268758
【国際特許分類第７版】
　Ｆ１６Ｆ　15/02
　Ｇ０２Ｆ　 1/13
【ＦＩ】
　Ｆ１６Ｆ　15/02　　Ａ
　Ｇ０２Ｆ　 1/13　 １０１

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月4日(2004.8.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　除振台上にステージを載置したステージ装置において、
　前記ステージを加減速駆動する駆動手段と、
　前記ステージの目標移動量または加減速の開始信号を入力情報として入力する入力手段と、
　前記入力手段への入力情報に基づいて前記駆動手段に加速信号を出力するとともに、該加速信号を出力してからｎ×Ｔ秒（ただし、ｎは自然数、Ｔは除振台の固有揺動振動周期［秒］）後に、前記加速信号と同波形で方向が逆になる減速信号を出力する制御手段とを具備したことを特徴とするステージ装置。
【請求項２】
　除振台上にステージを載置したステージ装置において、
　前記ステージを加減速駆動する駆動手段と、
　前記ステージの目標移動速度を入力情報として入力する入力手段と、
　前記入力手段への入力内容に基づいて前記駆動手段に第１の加速信号を出力するとともに、該第１の加速信号を出力してから（ｎ－０．５）×Ｔ秒（ただし、ｎは自然数、Ｔは除振台の固有揺動振動周期［秒］）後に、前記第１の加速信号と同波形で方向が同じ第２の加速信号を出力する制御手段とを具備したことを特徴とするステージ装置。
【請求項３】
　制御手段は、前記除振台の固有揺動振動周期Ｔに相当する変数Ｔｃを外部より変更可能にし、該変数Ｔｃを前記固有揺動振動周期Ｔとみなして前記駆動装置を制御することを特徴とする請求項１または２記載のステージ装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
　請求項２記載の発明は、除振台上にステージを載置したステージ装置において、前記ス

テージを加減速駆動する駆動手段と、前記ステージの目標移動速度を入力情報として入力する入力手段と、前記入力手段への入力内容に基づいて前記駆動手段に第１の加速信号を出力するとともに、該第１の加速信号を出力してから（ｎ－０．５）×Ｔ秒（ただし、ｎは自然数、Ｔは除振台の固有揺動振動周期［秒］）後に、前記第１の加速信号と同波形で方向が同じ第２の加速信号を出力する制御手段とを具備したことを特徴としている。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】

このような構成において、いま、入力装置１１よりステージ４の目標移動量Ｄ１が入力されると、制御装置８は、上述した（１）式よりステージ４の加速信号Ａ１を演算により求める。図２（Ａ’）は、この加速信号Ａ１を拡大して図示したものである。加速信号Ａ１は、図２（Ａ）に示すタイミングで加減速装置９に与えられ、ステージ４は、同図（Ｂ）に示すように加速され、同図（Ｃ）に示すように移動される。